

年	組	番	名前
---	---	---	----

# 思考実験 核兵器の削減が進まないのはなぜ？

**Q1** 核をめぐる対立構造を説明する際に、「囚人のジレンマ」というモデルが用いられることがある。以下のような架空の設定を基に、核兵器の削減が難航する理由を考えてみよう。(→ p.173【I】、p.173【II】①、p.174【II】②)

【設定】次のような状況について考えてみよう。



- ① A国とR国の間では、ミサイルの開発競争が進んでおり、その実力は均衡状態にあった。そんなとき、A国の大統領の下に軍事政策を担当する2人の部下がやって来た。
- ② 1人目は「軍縮」を持ちかけてきた。競争はA国にとって、そしてR国にとっても負担にしかならないので、ミサイル開発を一切やめるべきだと言う。そうすれば、軍事費は施設の廃棄処分や軍の維持費にかかる20億ドルだけで済むことになる。
- ③ 2人目は「軍拡」を持ちかけてきた。開発にかかる費用は100億ドルと高額だが、R国に先を越されないためには新型ミサイルの開発は必須だと言う。
- ④ R国の大統領も「軍縮」か「軍拡」かの判断を迫られているようだが、A国はR国の選択を知ることができない。

(1) 上の設定について、A国、R国の選択とその結果を下の表に整理してみよう。( )には数字を入れ、【 】には適切なものに○を付けよう。

		R国の選択	
		軍縮	軍拡
A国の選択	軍縮	① 軍事費：A国( 20 )億ドル R国( 20 )億ドル	③ 軍事費：A国( 20 )億ドル R国( 100 )億ドル
	軍縮	② 力関係：A国【 > <u>○</u> < 】R国	④ 力関係：A国【 > = < <u>○</u> 】R国
	軍拡	⑤ 軍事費：A国( 100 )億ドル R国( 20 )億ドル	⑦ 軍事費：A国( 100 )億ドル R国( 100 )億ドル
	軍拡	⑥ 力関係：A国【 > <u>○</u> = < 】R国	⑧ 力関係：A国【 > <u>○</u> < 】R国

(2) あなたがA国の大統領だとしたら「軍縮」と「軍拡」のどちらを選択するか○を付け、理由と共に考えてみよう。

あなたの選択	選択の理由
軍縮 <u>軍拡</u>	(例) R国の選択を知ることができない状況では、R国の選択にかかわらず、R国と同等かそれ以上の結果を得るようになるため。 ↑<解説>「あなたの選択」と「選択の理由」にはさまざまな答えが考えられる。「選択の理由」がしっかりとした理由になっていることが重要である。なお、(2)の設定に、例えば「費用」という面を見た場合」といった条件を加えると、答えが絞られてくる。

(3) (1)で作成した表と、以下の条件を踏まえて利得表(得点表)を作成し、読み取れることをまとめてみよう。

【条件】次のアとイの合計のポイントがその国の利得となる。  
ア：軍事費について、20億ドルで済むなら+1点、100億ドルかかるなら-1点  
イ：力関係について、相手国より優位なら+3点、互角なら±0点、劣位なら-3点

		R国			
		軍縮		軍拡	
A国	軍縮	A国：(①) 1点	↓<解説> 1点(ア)+0点(イ)=1点 両国の合計 (③) 2点	A国：(④) -2点	↓<解説> 1点(ア)-3点(イ)=-2点 両国の合計 (⑥) 0点
		R国：(②) 1点	↑<解説> 1点(ア)+0点(イ)=1点	R国：(⑤) 2点	↑<解説> -1点(ア)+3点(イ)=2点
	軍拡	A国：(⑦) 2点	↓<解説> -1点(ア)+3点(イ)=2点 両国の合計 (⑨) 0点	A国：(⑩) -1点	↓<解説> -1点(ア)+0点(イ)=-1点 両国の合計 (⑫) -2点
		R国：(⑧) -2点	↑<解説> 1点(ア)-3点(イ)=-2点	R国：(⑪) -1点	↑<解説> -1点(ア)+0点(イ)=-1点

【読み取れること】

- ① “両国の利益”を優先した場合、両国の利得の合計が最大になる選択をすべきなので、A国が(① 軍縮)を、R国が(② 軍縮)を選択することが最も望ましいといえる。  
↑<解説>【利得表】左上の両国の合計2点 参照
- ② A国が“自国の利益”を優先した場合について考える。R国の選択を「軍縮」と仮定すると、A国は(④ 軍拡)を選択した方が自国の利得が大きくなる。一方、R国の選択を「軍拡」と仮定しても、A国は(⑩ 軍拡)を選択した方が利得が大きくなる。つまり、“自国の利益”を優先した場合、相手国の選択にかかわらず(⑩ 軍拡)を選択すべきといえる。  
↑<解説>【利得表】右上のA国(-2点)と右下のA国(-1点)を比較すると、右下のA国の利得の方が大きい
- ③ ただし、A国とR国の両国とも②のように“自国の利益”を優先した場合、A国は(⑩ 軍拡)を、R国は(⑪ 軍拡)を選択するため、結果として両国の利得の合計は最も(⑫ 小さく)なる。  
↑<解説>【利得表】右下の両国の合計-2点 参照

(4) 「囚人のジレンマ」とはどのような状況か、p.174【II】②を参照しながら以下の空欄を埋めてみよう。

「囚人のジレンマ」とは、お互いを(A 信頼)し合えない状態で個人が(B 合理的)に選んだ行動が、結果としてお互いにとって(C 望ましくない)選択になってしまうという状況である。

**Q2** 核兵器の削減に向けてあなたが重要だと思うキーワードを挙げ、「囚人のジレンマ」を踏まえて説明してみよう。(→ p.174【II】②)

核兵器の削減を実現するためには「 国際協調 」が重要だと考えます。

なぜなら

(例) 互いの国の核開発の現状や意思を知ることができない状況だと、「囚人のジレンマ」に陥り、「軍縮」が合理的な選択ではなくなってしまいます。「国際協調」によって互いの国の現状や意思を確認し合うことで、「囚人のジレンマ」が解消されて、両国にとって合理的な「軍縮」を選択することができる

↑<解説> どうすれば「囚人のジレンマ」が解消されるかを示すことができるとよい。

からです。